



RPCA

# RPCA 製品審査基準 適合証明書

証明書番号 II 20-RM80 号

株式会社ヤマックス 殿

貴社の「MaxBlock (マックスブロック)」は、当協会道路プレキャストコンクリート工技術審査委員会における審査の結果、下記のとおりRPCA製品審査基準に適合したことを証明します。

一般社団法人 道路プレキャストコンクリート製品技術協会

会長 棚橋



記

## 1. 基本事項

製品名：MaxBlock (マックスブロック)

製品区分：II群製品

もたれ式ブロック積擁壁 (基本形)

証明書有効期間：2021年4月1日～2024年3月31日

## 2.申請区分

品種区分		申請区分	
製品区分	II群	重要度	重要度1
大分類	擁壁工	要求性能;常時	性能1
中分類	もたれ式ブロック積擁壁	要求性能;地震時	L1=性能1、L2=性能1
小分類	基本形	規格の範囲	直高=5000mm~10000mm、控長=750mm~3000mm
申請区分	製II-擁も-1	設置環境・条件	道路用(宅地用は対象としない)

## 3.製品審査結果

中項目	審査項目及び審査基準			判定	摘要条件	
	小項目	審査基準				
荷重	自重	単位体積重量	裏込め土	土質に合わせた単位体積重量であればOK。	clear	
			鉄筋コンクリート	実際の単位重量	clear	
			自重の考え方	製品重量+胴込重量+製品上の土重量	clear	
	土圧	主働土圧	土圧式	試行くさび法 (擁壁工指針P.100,101の式)	clear	
			土圧の鉛直成分	試行くさび法 (擁壁工指針P.100,101の式)	clear	
			土圧の作用高さ	試行くさび法 (擁壁工指針P.100,101の式)	clear	
		安定計算	土圧の作用面	道路PCa工指針 擁壁工P162~166	clear	
			壁面摩擦角	道路PCa工指針 擁壁工P162~166	clear	
		構造計算	土圧の作用面	道路PCa工指針 擁壁工P166	clear	
	壁面摩擦角		道路PCa工指針 擁壁工P166	clear		
	載荷重	荷重	車道は10kN/m <sup>2</sup> 、歩道は3.5kN/m <sup>2</sup>	clear		
		載荷方法	道路PCa工指針擁壁編[17] 載荷重	clear		
地震荷重	設計水平震度	地域補正係数・地盤種別は適切であること。	clear			
荷重の組合せ	常時の作用 死荷重+活荷重	道路PCa工指針擁壁編[15] 3.2.1 一般及び3.2 設計に用いる荷重	clear			
	地震時の作用 死荷重+地震荷重	地震時土圧、慣性力は適切であること。	clear			
材料及び設計諸定数	コンクリート	設計基準強度	製品:道路PCa工指針コンクリート編[3] 2.1 コンクリート	clear		
			胴込め: $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上	clear		
	鉄筋		SD295、SD345	clear		
	裏込め土		土質に合わせた単位体積重量であればOK。	clear		
	土の単位体積重量 $\gamma$		$\gamma=20\text{kN/m}^3$ 、 $\phi=35^\circ$ (礫質土)	clear		
	内部摩擦角 $\phi$ 、土質		$\gamma=19\text{kN/m}^3$ 、 $\phi=30^\circ$ (砂質土)	clear		
			$\gamma=18\text{kN/m}^3$ 、 $\phi=25^\circ$ (粘性土)	clear		
	基礎地盤の土質定数	擁壁底面と地盤との摩擦係数 $\mu$	$\mu=\tan\phi$ 及び擁壁工指針表4-9による。 $\mu=0.6$ 以下	clear		
	基礎地盤の許容支持力度	礫質土:qa=600(300) 砂質土:qa=300(200) 粘性土:qa=200(100)	clear			
割増し係数		地震時等に使用する係数を確認	clear			
許容応力度	胴込め、裏込めコンクリート部(無筋)	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ca}=\sigma_{ck}/4$ ( $\leq 5.5$ )	clear		
		コンクリートの許容曲げ引張応力度	$\sigma_{ta}=\sigma_{ck}/80$	clear		
		コンクリートの許容せん断応力度	$\tau_a=\sigma_{ck}/100+0.15$	clear		
安定性の照査	滑動	安全率	常時)Fa $\geq 1.5$ 、地震時)Fa $\geq 1.2$	clear		
	転倒	合力の作用位置	常時)底版幅の B/6 以内、地震時)底版幅の B/3 以内	clear		
	支持力	常時:支持力	q $\leq$ qa 安全率3	clear		
		地震時:支持力	q $\leq$ qa 安全率2	clear		
部材の安全性の照査	解析方法		許容応力度法	clear		
	構造耐力	擁壁本体	曲げモーメント	$\sigma_c \leq \sigma_{ca}$ 、 $\sigma_t \leq \sigma_{ta}$	clear	
			せん断力	$\tau_c \leq \tau_a$	clear	
		積ブロック	曲げモーメント	コンクリート打設時及び施工時の外力に対して構造的に問題がないこと。	clear	
			せん断力	コンクリート打設時及び施工時の外力に対して構造的に問題がないこと。	clear	
	耐久性	積ブロックの純かぶり	道路PCa工指針 第2編 コンクリート [14]~[15] 4.2鉄筋のかぶり	clear		
場所打ち部の純かぶり		道路PCa工指針 第2編 コンクリート [14]~[15] 4.2鉄筋のかぶり	clear			
構造細目	水抜き孔の径、配置状況		擁壁に2~3m <sup>2</sup> に1カ所の割合で内径5~10cm程度水抜き穴を設置	clear		

3.製品審査結果

中項目		小項目		審査項目及び審査基準	審査基準	判定	適要条件	
その他の仕様	擁壁の根入れ		根入れDf	50cm以上		clear		
	基礎コンクリート	設計基準強度		設計・施工要領等に記述があるか確認。道路PCa工指針擁壁工編 [36]		clear		
		厚さ		5.2.3 配置上の留意点及び[40] (3)基礎の検討		clear		
	基礎材	使用材料		設計・施工要領等に記述があるか確認。道路PCa工指針擁壁工編 [36]		clear		
		厚さ		5.2.3 配置上の留意点及び[40] (3)基礎の検討		clear		
	排水工		排水工の形状		道路PCa工指針 第4編 擁壁工 3.7排水工 [28]～		clear	
	設計条件以外での対応				設計要領に記述があること。		clear	
異形品の対応		底版斜切り・開口等		設計要領に記述があること。		clear		
施工	施工マニュアル	施工の手順		施工マニュアル等に記述があること。		clear		
		施工上の留意点		施工マニュアル等に記述があること。		clear		
		施工上の適用条件		施工マニュアル等に記述があること。		clear		
製品の品質	外観		検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置を規定していること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]～[17] 第3章 検査)			clear		
	形状寸法		検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置を規定していること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]～[17] 第3章 検査)			clear		
	コンクリートの圧縮強度		試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置を規定していること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]～[17] 第3章 検査)			clear		
材料の品質	品質		使用する材料の品質を規定していること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)			clear		
	受入検査		検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置を規定していること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)			clear		
	貯蔵		貯蔵の管理方法を規定していること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)			clear		

審査委員会

委員長

宮川豊章

